

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 9月30日 (月)

2 確認箇所

6号機タービン建屋地下1階、1階

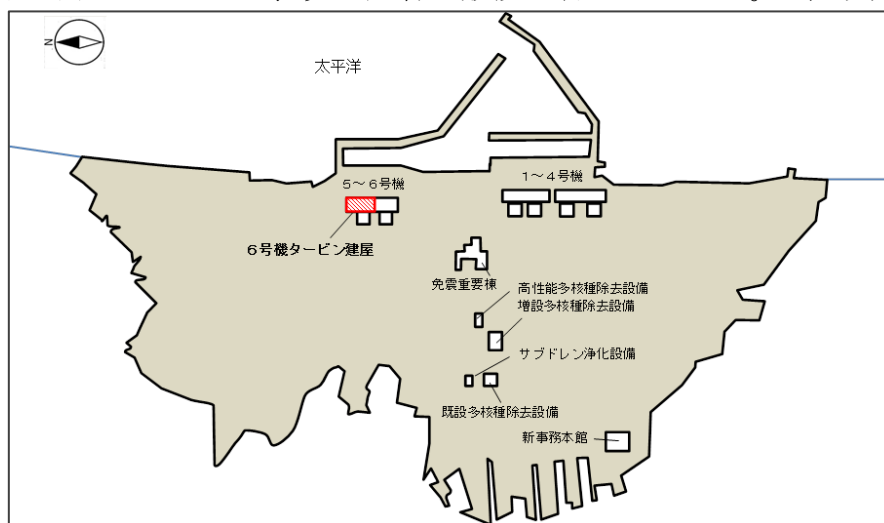
3 確認項目

6号機タービン建屋滞留水移送ラインからの水漏れの対応状況

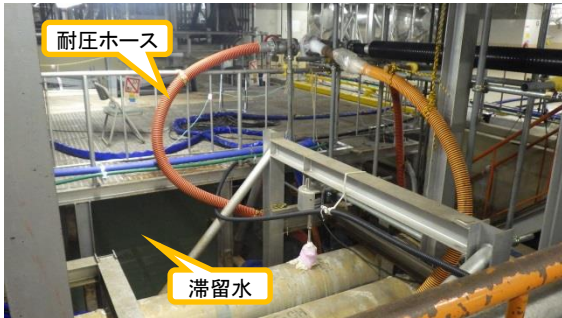
4 確認結果の概要

本年9月17日13時01分頃、パトロール中の東京電力社員が6号機タービン建屋地下階給水加熱器室に敷設されている滞留水移送ラインからの水の漏えいを確認した。移送ポンプの停止等により15時32分に漏えいは停止しているが、現状並びに再発防止対策を確認した。なお、東京電力によると、漏えい場所が給水加熱器エリアのグレーチング上であり、グレーチング下部のピットを経由し、滞留水が滞留水貯留エリアへ流入していたことから外部への影響はないとのことであった。

- ・滞留水貯留エリアから滞留水をくみ上げるため、先端部に移送ポンプが設置された耐圧ホースが敷設されていた。(写真1)
- ・漏えい発生箇所は紙タオルが巻かれた上にビニールで養生されていた。なお、現場確認時、滞留水の移送は行われていなかった。(写真2)
- ・東京電力によると、漏えい発生原因は耐圧ホースの経年劣化と推定されるため、対策として耐圧ホースの交換を行うとのことであった。なお、当該ラインは耐圧ホースからより耐久性の高いポリエチレン管(PE管)への変更が予定されており、既に配管の敷設が行われていた。(写真3)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)



(写真2)



(写真3)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。